

消防団120年・自治体 消防65周年記念大会

総務課・消防研究センター

1 大会の概要

平成25年は、昭和23年の消防組織法の制定により自治体消防制度が発足してから65周年であると同時に、明治27年の消防組規則の制定により消防組（消防団の前身）が発足してから120年目に当たる年でした。

これらを記念して、平成25年11月25日、日本消防協会と全国消防長会の主催により、「消防団120年・自治体消防65周年記念大会」が開催されました。会場となった東京ドームには、天皇皇后両陛下に御臨席いただくとともに、安倍内閣総理大臣を始めとする多数の来賓を迎え、約3万7,000人の消防職団員、消防関係者等が参加する盛大な大会となりました（写真1）。

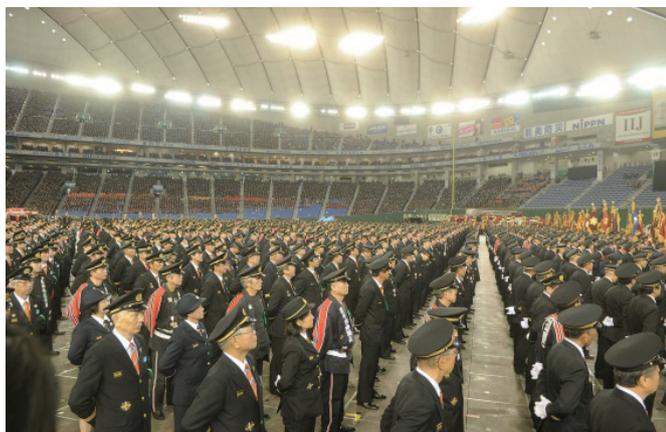


写真1 記念式典で整列する消防職団員

この大会では、我が国の消防の発展を振り返るとともに、災害により殉職した職員への追悼が行われ、さらに、「消防未来宣言」により、これからの消防防災体制づくり

に向ける決意が明らかにされました。

2 大会の内容

オープニングイベントの消防伝統演技ののち、天皇皇后両陛下の御臨席のもと、東日本大震災等の災害で殉職された消防関係者に対して黙祷が捧げられました（写真2）。



写真2 東日本大震災等で殉職した消防関係者に対する黙祷

記念式典では、秋本日本消防協会会長により式辞が述べられたのち、永年にわたり消防活動へ多大な貢献のあった消防関係者や、東日本大震災において住民の安全確保や人命救助などの顕著な功績のあった消防機関の関係者等に対し、表彰が行われました。この表彰では、安倍内閣総理大臣から内閣総理大臣表彰（15名・



写真3 安倍内閣総理大臣からの表彰

50機関)が、新藤総務大臣から総務大臣表彰(15名)が授与されました(写真3)。

記念式典後には、消防団によるラップ隊演奏、放水訓練(写真4)、大地震発生を想定した救急救助訓練などの消防実技が行われるとともに、幼年消防クラブ鼓笛隊の演奏やAKB48による震災復興応援ソングなどが披露され、大会に花を添えました。



写真4 消防団による放水訓練

消防研究センターからは、8輪駆動水陸両用バギー車(写真5)が、大規模地震を想定した救急救助の消防実技に参加しました。また、研究紹介の展示コーナーを設け、消防防災ロボット(FRIGO)や無人偵察ヘリ(写真6)など、日頃の研究成果を紹介し、多くの方に来訪いただきました。

大会の最後には、「消防未来宣言」がなされ、自らの地域は自ら守るという先人の熱い思いを受け継ぎ、新しい技術等も積極的に導入しながら、国民の安全を守るためにより強固な未来の日本消防づくりに邁進することが宣言されました。



写真5 8輪駆動水陸両用バギー車



写真6 消防研究センターの展示コーナー
(上：消防防災ロボット(FRIGO)、下：無人偵察ヘリ)

問い合わせ先

消防庁総務課
TEL 03-5253-7521
消防庁消防研究センター研究企画室
TEL 0422-44-8331